

令和6年度復職支援研修  
**講義・演習9月コース実施報告**

令和6年9月5日(木)～9月6日(金)

## 1. 目的

就業を希望する者に対し、最近における看護知識・技術を修得させ、未就業看護職に再就職を促すとともに就業の継続支援を目的とする。

また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、新たな看護業務の発生や看護職員の休業等で緊急の要請があった場合、協力可能な看護職が不安なく業務に従事できるようにする。

## 2. 開催日

講義・演習コース1：令和6年9月5日（木）～9月6日（金）

## 3. 開催場所

宮崎県看護等研修センター

## 4. プログラム

回数	午前	午後
1日目	開講式 9:20 看護の動向 (9:30～10:30) 看護に関係する社会環境の変化や最近の看護に関する動き等を学ぶ 講師：宮崎県ナースセンター長 荒川貴代美 復職支援講座 (10:40～11:20) 再就業に向けての準備ができる(自己理解、職場理解し応募書類の準備を行う) 講師：宮崎県ナースセンター 就業相談員 小谷やよい 意見交換 (11:20～12:00) 受講生間の交流を深め、再就業への意欲をさらに高める。	感染管理 (13:00～15:30) 感染の知識を深め、正しい感染予防の実際を学ぶ。感染予防の基本的技術を習得する。个人防护具の着脱の演習。 講師：平和台病院 副看護部長 柳原由美子氏 (感染管理認定看護師) ナースセンター登録の支援 (希望者のみ)
	2日目	フィジカルアセスメント (9:30～12:00) 患者の状態から緊急性の有無を明確に判断・把握し、必要とされる看護ケアへつなげることー看護観察から判断まで(講義・演習) 講師：こどもとおとなの 訪問看護ろけっと★ステーション 施設長 坂本郁代氏

## 5. 受講者の状況

① 受講者：12名（未就業者 11名）

② 取得看護免許

保健師・看護師・養護教諭 1名、

保健師・看護師 1名、

助産師・看護師 1名、

看護師 9名、准看護師 1名

③ 年齢：24～57歳（平均 44.4歳）

年代	受講生数
～29歳	1 (8%)
30～39歳	3 (24%)
40～49歳	4 (34%)
50～59歳	4 (34%)
60歳以上	0 (0%)

④ 看護職経験年数：0年～35年  
(平均 12.8年)

経験年数	受講生数
1年未満	1 (8%)
1～5年未満	1 (8%)
5～10年未満	4 (34%)
10～20年未満	3 (25%)
20年以上	3 (25%)

⑤ 未就業者11名の最終離職(または免許取得)  
から受講までの期間(ブランク期間)

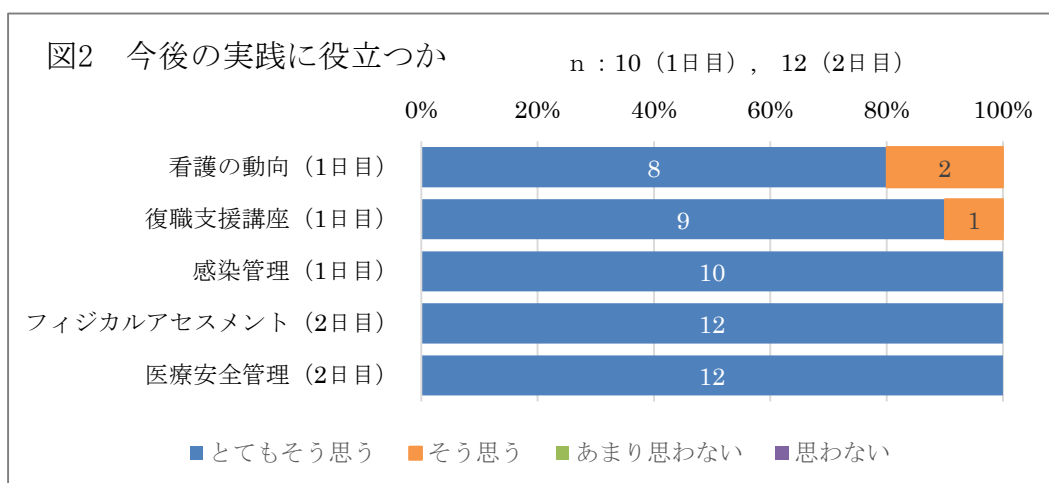
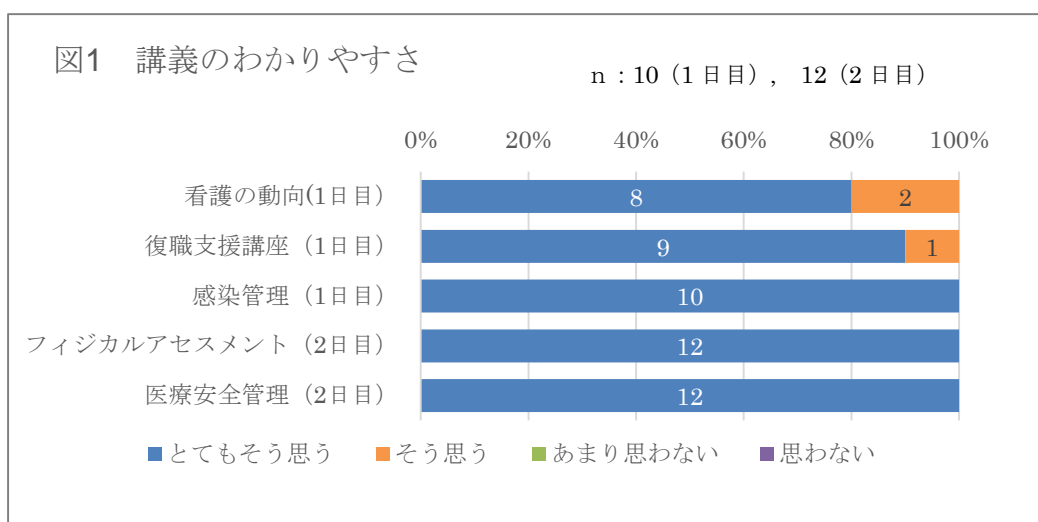
0年～26年 (平均 6.02年)

ブランク期間	受講生数
1年未満	3 (27%)
1～5年未満	4 (37%)
5～10年未満	1 (9%)
10～20年未満	0 (0%)
20年以上	2 (18%)
不明	1 (9%)

## 6. 結果

各講義について、<講義のわかりやすさ><今後の実践に役立つか>について4段階評価尺度と自由記述方式によるアンケート結果で示した。

### 1) 各講義のアンケート結果



## 2) 意見交換

### (1) 内容

#### ① 目標

受講者間の交流を深め、再就業への意欲をさらに高める

#### ② 方法

キャリアシートを活用し過去のキャリアの振り返りと今後について考える

### 3) 受講者の感想

- ・ 復職に対する必要な知識を学ぶ機会になった。社会復帰を目指す為にも研修等を利用していきたいと思った。
- ・ 病棟看護師だけでなく、様々な場所での就業も考えていきたいと思った。
- ・ 復職に向け、皆さんと、時間を共有できてよかった。また、いろんな方がいて心強かった。次の仕事へのやる気につながった。
- ・ 基礎を学べて再就職にむけた心構えが少しできた。
- ・ 看護職とは、生涯学習(自己研鑽)を積みければなりません。それには責任とそして覚悟して復職するべきだと思われました。この機会に巡り会うことができ感謝です。
- ・ 施設、訪問看護ステーション、病院などどこで働くにも必要なことが学べて良かった。
- ・ フィジカルアセスメントは、実技を通してよく理解できた。体位の変換などもっと詳しく知りたいと思った。事故は怖い「怖い」から注意していこうと気を引き締めた。
- ・ 知識と経験を積んでいきたいと思った。
- ・ 初めて学んだこと、学んだはずなのに、忘れていたことが多くあった。経験の浅さから自分に自信がなく復職できないのではないかと不安をずっと抱えていたので、少しでも自信を持って職を探せるよう知識を学び直す時間をもっと取ろうと思った。
- ・ わかりやすくてとても勉強になった。
- ・ これまで学びたいと思っていただけ、できていなかった分野で、今日講義を受けることができよかった。
- ・ フィジカルアセスメントでは実際の状況を思い出しながら講義を受けることができ、とても勉強になり楽しかった。医療安全では今と昔ではずいぶん意識の違いもあったりして、とても興味深く勉強になった。
- ・ 看護師として仕事していた時間も短く、ブランクがとてもある中で、わかりやすく、また演習もあることでとても勉強になった。医療安全について、事例や対策の現状を知ることができ、勉強になった。
- ・ わかりやすくりズムもよく進んだので、集中して聞くことができた。演習もあって、それぞれの講義がもう少し時間を延長していただきたい内容だった。

#### 研修の様子



感染管理



フィジカルアセスメント



医療安全管理

- 4 今後取り入れてほしい講義
  - 緊急対応
  - 採血演習等

## 7. まとめ

広報は、情報誌、新聞、市町村広報誌、ハローワーク等で行い、研修の申込は12名であった。

研修内容については、アンケートの結果のとおり満足度の高いものとなった。講義については、医療機関だけでなく、介護施設などの就職にも役立つ内容だと好評だった。演習をすることで感染管理や个人防护具の着脱について理解を深め、感染予防対策の重要性の再確認につなげることができた。また聴診や酸素飽和濃度測定等の体験を通し、観察の必要性や方法について考える機会になった。医療安全の講義については、事例を通し、対策やチームの在り方についても考える機会になった。また就業の情報交換や今の状況を話すことで、再就職への意欲につなげることができた。

受講者は参加することを決心し研修に申し込み、会場に足を運ぶこと自体にも不安を感じている。その不安な気持ちに寄り添いながら受講者の状況に合わせ就業を支援していきたい。